

令和4年度 関東・全国大会選手選考について

2022. 4. 1現在の状況での提案になります。

今後の情勢で変更もあり得ることをご承知おきください。

1. 関東中学陸上大会選手選考について

令和4年度（8/9（火）～10（水）

神奈川（レモンガススタジアム平塚）

関東大会で実施される種目（以降関東種目）

【男子】	1年	100m	1500m	走幅跳				
	2年	100m						
	3年	100m						
	共通	200m	400m	800m	1500m	3000m		
		110mH	4x100mR					
		走高跳	棒高跳	走幅跳	砲丸投	四種競技		
【女子】	1年	100m	800m	走幅跳				
	2年	100m						
	3年	100m						
	共通	200m	800m	1500m	100mH	4x100mR		
		走高跳	走幅跳	砲丸投	四種競技			

※関東種目の出場制限は、1人1種目（リレーを除く）、1種目3名、リレー3チームです。選考方法は下記の通りとします。

【関東中学陸上大会選手・チーム選考方法】

- ① 通信での関東種目1位＝決定 1人（チーム）
- ② 総体での関東種目1位＝決定 1人（チーム）
- ③ 総体での関東種目2位＝決定 1人（チーム）

☆通信と総体の結果、順位の重複や他種目へ出場などにより順位確定できない場合は、通信・総体の記録を比較し決定する。

例1) 3年男子100m

	通信	総体(共通100m出場の3年生)	関東代表者
A君	1位 11"10	----	①A君
B君	2位 11"53	3位 11"71	
C君	3位 11"68	1位 11"33	②C君
D君	4位 11"75	2位 11"68	③D君

例2) 3年男子100m

	通信	総体(共通100出場の3年生)	関東代表者
A君	1位 11"20	1位 11"28	①A君
B君	2位 11"33	4位 11"35	③B君
C君	3位 11"50	3位 11"34	
D君	4位 11"54	2位 11"30	②D君

【選手・チーム選考方法の確認事項】

- ①選手の決定は、原則として関東大会実施種目により行う。したがって関東出場権を順位確定で目指す1・2年生は、その該当種目に出場すること。
(学年種目を狙うなら学年種目に、共通種目を狙うなら共通種目に出場する。)
- ②総体には、3年100mという種目がないため、共通100mで3年生の順位を確定する。
- ③順位確定で決まらない場合は、他種目(四種も含む)、他学年等全ての決勝記録を選考の対象とする。(オープンも対象内)ただし、リレーチームについては、決勝記録で共通・1年とも同一中学校が選考された場合はどちらか1チームとする。
- ④もし、3人目の選考が「通信・総体の最高記録者」となり、同記録だった場合は県総体を優先させる。ただし、高さや距離を競う競技はその種目の順位決定方法に従う。
(県総体を優先させる小中体連の基本方針を生かす。)それでも決まらない場合は、ジャンプオフや抽選をすることもある。
- ⑤2種目または他競技で代表権を得る可能性があるときはどちらに出場するか意思表示をすること。(※関東中体連大会規定により、出場は1種目・1競技となっている)

※関東大会混成競技(四種競技)の選考について

2018年度ルール修正により、混成競技における同得点の場合は同成績(同順位)となりました。

2017年度までのルールでは、2人以上の競技者が同じ得点をとった時、次のように順位を決めていました。

まず、同得点が2人の場合は種目ごとに得点を比較し勝ち負けを決め、勝ち数の多い競技者が上位の順位となる。この方法でも順位が決まらない、または同得点が3人以上の場合は各種目のどれか1種目で最高得点(同得点者間での比較)をとった競技者を上位の順位とした。それでも順位が決まらない場合は2番目の種目、3番目の種目と順に種目を下げていき、最高得点(同得点者間での比較)を取った競技者を上位の順位とした。それでも順位が決まらないときは同成績(同順位)とされていた。

ということで、今後考えられる問題は…

例) 男子四種競技

	通信	総体	関東代表者
A君	通信1位 2144点(16.13-9m32-1m55-56.10)		①A君
B君	総体1位 2361点(15.81-10m75-1m66-55.90)		②B君
C君	総体2位 1942点(17.13-8m55- <u>1m55</u> -57.41)		
D君	総体2位 1942点(17.13- <u>8m60</u> -1m45- <u>55.54</u>)		③D君

この場合、現行のルールではC君、D君は同順位のため、順位での決定ができません。そこで、このような事態が生じた場合、2017年までのルールを適用し順位を決定します。すると上の例の場合では、D君の方が2種目、C君より勝っているため、同順位、同得点ですがD君が代表権獲得となります。

2. 全国中学陸上大会出場資格

令和4年度（8/18（木）～21（日） 福島（とうほう・みんなのスタジアム）

下記表【全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録】を通信陸上大会，県総体において突破した選手に出場資格が与えられる。

リレーは，通信陸上大会，及び県総体の共通リレー決勝においてそれぞれ1位のチームの記録を比較し，記録のよいチームを山梨県代表として出場資格を与える。

（男女各1チーム。同タイムのときは県総体優先）

【全日本中学校陸上競技選手権大会 参加標準記録】 【追風参考記録は対象としない】

男 子		女 子	
種 目	標準記録	種 目	標準記録
100m	11"20	100m	12"53
200m	22"75	200m	25"80
400m	51"60		
800m	2'00"50	800m	2'16"50
1500m	4'08"50	1500m	4'38"00
3000m	8'57"00		
110mH	15"00	100mH	14"80
走高跳	1m85	走高跳	1m60
棒高跳	4m00		
走幅跳	6m55	走幅跳	5m45
砲丸投	13m00(5k)	砲丸投	12m50
四種競技	2500点	四種競技	2630点
4×100mR	各都道府県1チーム（学校単独チーム）		

【選手・チーム選考方法の確認事項】

上記の標準記録を突破した者が全国大会の出場資格を獲得します。ただし，各都道府県で標準記録突破者が合計10名に達しない場合，合計10名までを専門部から推薦し，協議の上，出場資格が与えられます。（平成27年度より適用）

その場合，専門部としての選考基準は以下の通りとします。（四種競技，リレーには推薦枠はありません。）

- ①通信大会，県総体においてその種目に出場し，上記の標準記録を突破できなかった者で，以下に示す設定記録（追風参考記録は対象としない）を4月1日から7月29日の期間で開催された公式大会でクリアした者を推薦出場の『選考対象者』とする。四種競技の単一種目においての記録も選考の対象とする。なお，県外の大会での記録は，顧問，コーチが記録の証明書を提示し，申告をすること。

②選考対象者が推薦枠の人数を上回った場合の選考方法は、令和2年1月1日～令和3年12月31日までの全国年間記録ランキング（インターネット上）の各種目に照らし合わせ、より上位にランクする選手を選考する。

（駅伝大会の記録は対象外とする）

③②の方法で選考対象者10番目のランキングが複数になった場合は①県総体②通信陸上大会の優先順位とする。それでも決まらない場合は10番目の選手は選考しない。

（例1：145位A君通信100m B君県総体走幅跳の場合、B君を選考）

（例2：145位A君県総体100m B君県総体走幅跳の場合、両者とも選考しない）

④追い風参考記録は選考の対象としない。

⑤選手の選考は、県総体終了後の専門部会「関東全国代表者選考会議」において決定する。

推薦出場選手選考設定記録

	男 子	女 子
種 目	設定記録	設定記録
100m	11"40	12"75
200m	23"10	26"30
400m	52"50	
800m	2'03"00	2'19"00
1500m	4'15"00	4'43"00
3000m	9'08"00	
110mH	15"25	
100mH		15"05
走高跳	1m80	1m55
棒高跳	3m80	
走幅跳	6m30	5m20
砲丸投	12m60	12m00

※ この設定記録は過去全国大会各種目出場者の予選結果の記録（記録順に概ね2/3に位置する記録）を参考にして強化部で設定しました。なお、棒高跳、走高跳は開始試技の高さより5cm下げて設定しています（試技前の練習の高さ）。

問い合わせ先 山梨県小中体盟陸上専門部
委員長 河野 直人（080-5473-7230）